

北関東 防衛局 広報

2024.6
Vol.
119

目次 -CONTENS-

- 2 空母艦載機が硫黄島で着陸訓練を実施
- 3 防衛パネル展開催 陸自相馬原駐屯地・陸自松本駐屯地
- 4 横田基地 日米友好祭(2024)
- 5 新発田駐屯地創設記念行事
- 6 一般広報(アーバンキッズパーク・にいがたカナル彩)
- 7 令和6年4月1日付人事異動幹部紹介
令和6年度北関東防衛局初任研修
- 8 わが町紹介 ～新潟県妙高市～
- 9 事務所だより ～小笠原出張所～
- 10 北関東防衛局からのお知らせ・お願い
 - ・レーザー光線の航空機への照射は犯罪です
 - ・ドローンの規制についてのお知らせ
 - ・横田飛行場周辺の高さ制限
 - ・在日米軍従業員募集



南島 扇池(写真提供:小笠原村観光局)



編集・企画発行:北関東防衛局総務部広報室 埼玉県さいたま市中央区新都心2-1

<https://www.mod.go.jp/rdb/n-kanto/>

管轄区域:東京都・茨城県・栃木県・群馬県・埼玉県・千葉県・新潟県・長野県



空母艦載機が硫黄島で着陸訓練を実施

訓練期間中約2,200回の着陸訓練が実施されました

原子力空母ロナルド・レーガンの艦載機による60回目の空母艦載機着陸訓練（FCLP：Field Carrier Landing Practice）が、令和6年5月4日から13日までの間、硫黄島で実施されました。

訓練には、原子力空母ロナルド・レーガンの艦載機約30機（FA-18E、FA-18F、EA-18G、E-2D、C-2A）が参加し、期間中に約2,200回の着陸訓練が行われました。

北関東防衛局では、訓練が円滑に実施されるよう、企画部次長を始め職員14名を硫黄島へ派遣し、機材の使用及び支援物資の輸送に係る米海軍、海上自衛隊及び航空自衛隊との間の連絡調整や、給食、施設の管理に係る役務の調達等の支援業務を昼夜を問わず行いました。

また、今回は九州防衛局及び熊本防衛支局の職員9名がFCLP支援業務に初めて参加しました。

訓練の実施に当たっては、硫黄島の自衛隊基地を管理する海上自衛隊及び航空自衛隊の協力もあり、当初予定していた訓練期間内に無事全ての訓練を硫黄島で終わることができました。



着陸訓練を行う空母艦載機



日米間での会議の様子

北関東防衛局では、本土の飛行場周辺での航空機騒音軽減などを図るため、米軍にはできる限り、硫黄島において訓練を行うよう、累次の機会に要請しています。

今後とも、訓練の実施に当たっては、日米間の調整を密に行い、恒久的なFCLP施設が整備されるまでの間、暫定的な代替施設である硫黄島において多くの訓練が実施され、本土の飛行場周辺における航空機騒音の軽減が図られるよう努めてまいります。

空母艦載機着陸訓練とは

空母出航前に、空母艦載機のパイロットが着艦資格を取得するため、陸上の滑走路の一部を空母に見立てて実施する着陸訓練です。



米軍と調整を行う局職員



訓練支援室の様子



着陸訓練を行う空母艦載機

防衛パネル展開催

陸自相馬原駐屯地・陸自松本駐屯地

4月13日(土)、満開の桜の下で開催された第12旅団創立23周年相馬原駐屯地創設65周年記念行事(群馬県)及び4月20日(土)、桜舞い散る中で開催された松本駐屯地創設74周年記念行事(長野県)において、昨年度に引き続き防衛パネル展を開催しました。両日ともに天候に恵まれ、多くの方が記念行事に来場され、両パネル展にも600名以上の方に訪れていただきました。



陸自相馬原駐屯地



今回展示したパネルは、一昨年に策定された国家防衛戦略・防衛力整備計画を着実に実施するために必要となる防衛費(令和5年度から9年度の5年間で43.5兆円)の使い方や、本年1月に発生した能登半島地震における自衛隊の対応について、発生直後を中心とした活動の状況を説明したものです。

展示に当たっては、より理解を深めていただけるようにクイズ形式の展示内容としていますが、新たな取り組みとしてクイズ参加者に護衛艦などの自衛隊装備品がプリントされた特製「缶バッジ」をプレゼントしました。参加者からは、クイズを通して自衛隊の現状や防衛費の使い方について初めて知ることができて勉強になったなどの声が聞かれました。

また、もう一つの新たな取り組みとして、防衛政策広報「X」をその場でフォローしていただいた方へ戦車のペーパークラフトをプレゼントしました。

防衛パネル展は、防衛省・自衛隊の諸政策・諸活動について国民の方々の理解を深めていただくことを目的として、1都7県(千葉・茨城・埼玉・栃木・群馬・長野・新潟)に所在する自衛隊の記念行事や自治体において開催しています。開催予告やその結果については、その都度「X」にポストするとともにHPでもお知らせをしています。

防衛政策広報「X」
@mod_kitakanDB #防衛パネル展



陸自松本駐屯地

横田基地 日米友好祭（2024）

令和6年5月18日(土)、19日(日)の両日、『横田基地 日米友好祭 (Japanese-American Friendship Festival 2024)』が開催され、30万2千人が来場しました。

このイベントは、日米両国の永続的な友好関係を祝い地域社会の皆様とのパートナーシップを深めることを目的として、横田基地の一部が一般に開放される毎年恒例のイベントで、メイン会場となった駐機場では、CV-22オスプレイやC-130J(スーパーハーキュリーズ)輸送機などの米軍機のほか、航空自衛隊や民間の航空機など約30機の地上展示やF-16戦闘機などの飛行展示が行われました。



F-22 ラプターを撮影する来場者

なかでも普段横田基地では見ることができない、EA-18G グラウラー、F-22 ラプター、F-16CM ファイティング・ファルコン 戦闘機などは写真撮影の的となり注目を浴びていました。

航空機の前では米軍兵士や自衛官によるそれぞれの航空機の説明や、機体をバックに子供達との写真撮影に応じるなど和やかな雰囲気になっており、CV-22オスプレイをはじめいくつかの航空機においては機内を見学できるとあって大勢の方々が列を作り、普段できない搭乗体験に来場者の関心の高さがうかがえました。



UH-1Nヘリに搭乗体験する来場者

会場に設けられたステージでは、米国空軍太平洋音楽隊をはじめ様々な日米ミュージシャンによる演奏などの催しが行われ会場の雰囲気を盛り上げており、曲に合わせて踊る人などもいて、演奏が終わるたびに拍手喝采を浴びていました。



CV-22 オスプレイの機内見学に並ぶ来場者



C-130Jの機内見学に並ぶ来場者

また、米軍と自衛隊による共同展示として、陸上自衛隊第1空挺団(千葉県習志野市)による米軍のC-130J輸送機からの空挺降下が展示され、日米間の相互運用性と共同対処能力の高さを披露しました。

南側エプロンにはアメリカンフードを販売する店が多数並び、ステーキやホットドック、ピザなどを購入する来場者の長い列ができており、その周辺では、多くの家族連れがレジャーシートを広げ、のんびり食事を楽しむ姿が見られました。

会場に設けられたステージでは、米国空軍太平洋音楽隊をはじめ様々な日米ミュージシャンによる演奏

新発田駐屯地創設記念行事



自衛隊新潟地方協力本部(以下、新潟地本と記載)は、令和6年4月21日(日)に開催された、陸上自衛隊 新発田駐屯地の開設記念式典(駐屯地一般開放)において、自衛隊広報活動を実施しました。来場者の方々は記念式典や訓練展示等の各種イベントを楽しんでいました。

新潟地本のブースにおいては制服試着や展示車両の見学が行われ、それぞれ写真撮影が行われました。写真撮影では、思い思いのポーズが取られていました。また、自衛隊に興味を持つ学生等の方々が自衛隊に関する広報官の説明に対し熱心に耳を傾けていました。

(写真及び資料提供:新潟地本)

一般広報（アーバンキッズパーク）



新潟地本は、令和6年5月4日（土）、5日（日）の両日、新潟市万代シティパークにおいて、NST新潟総合テレビが主催する「Urban Kids Park in BANDAI 2024」に参加し、自衛隊広報活動を実施しました。ゴールデンウィーク中に実施されたということもあり、多くの方々が訪れました。新潟地本は車両展示を行うとともに、制服試着等で自衛隊をPRしました。来場者の方々は制服試着や展示車両の見学、写真撮影を楽しみました。

（写真及び資料提供：新潟地本）

一般広報（にいがたカナル彩）



新潟地本は、令和6年4月29日（月・祝）新潟県スポーツ公園（デンカビッグスワンスタジアム）において、開催された「にいがたカナル彩」に参加し、自衛隊広報活動を実施しました。「にいがたカナル彩」とは新潟県が主催する「新潟県都市緑花フェア」と新潟市駅南まつり協賛会（（一社）新潟市南商工振興会）が主催する「Niigataスプリングフェスティバル」の合同イベントです。

新潟地本は陸上自衛隊第30普通科連隊及び航空自衛隊新潟救難隊の支援を受け、車両展示を行うとともに、制服試着等で自衛隊をPRしました。来場者の方々は制服試着や展示車両の見学、写真撮影を楽しみました。

（写真及び資料提供：新潟地本）

令和6年4月1日付人事異動幹部紹介



管理部長 佐々木 満

4月1日付けで管理部長を拝命しました佐々木です。
北関東防衛局での勤務は、10年ぶり2度目で、懐かしさを感じております。

管理部は、自衛隊及び在日米軍の施設の取得・管理やその使用に伴う損失の補償、あるいは在日米軍に関わる事件・事故に起因する損害の賠償・補償など、地元の方々との関わりが深い業務を担っています。勤続34年の経験を活かしながら、一所懸命業務に取り組む所存ですので、何とぞよろしくお願い申し上げます。

令和6年度北関東防衛局初任研修

○新採用職員をよろしくお願ひします！

今春、北関東防衛局にも令和6年度新規採用職員17名が加わり、令和5年度に先行採用され、既に業務に従事している6名とともに、4月17日から3日間の初任研修を無事に修了し、フレッシューズ23名が本格的に北関東防衛局の一員として、それぞれ業務の最前線で働き始めています。

今年3月に学校を卒業して初めて社会人となる者、他業種で経験を積んで防衛省に飛び込んで来た者など、多様なバックグラウンドをもった23名です。

初任研修では、北関東防衛局が所管する東京都、埼玉県、千葉県、茨城県、栃木県、群馬県、長野県、新潟県の1都7県の自衛隊施設や米軍基地、防衛施設等が所在する市町村に関わる当局の各種施策の講義のほか、武隈総務部長の講話では、わからないことに遭遇した場合は聞くことがとても大切。調整や交渉は人と関わる仕事で信頼の上に成立する。それは誠実な態度で人の話を聞くことであり、防衛施設周辺で生活する住民の声に耳を傾けその立場に立ってよく聞き、防衛行政を考えることが重要であるとの講話を受講しました。

まだまだ毎日が勉強で未熟なところもございますが、フレッシューズ23名は地域の皆様と自衛隊・在日米軍との架け橋としてしっかりと役割を果たせるよう、北関東防衛局職員共々頑張っまいますので、何卒よろしくお願いいたします！



総務部長講話を受講する初任研修受講生

「誰もが住みたい、子育てしたい、働きたいと思えるまち」

妙高市は、新潟県の南西部に位置する人口約3万人のまち。妙高戸隠連山国立公園に属する2000メートル級の妙高山、火打山、高妻山(以上「日本百名山」)などに囲まれた日本でも有数の豪雪地です。妙高山麓には、7つの温泉地、7つのスキー場、3つの酒蔵など豊富な観光資源を有し、冬期間を中心に県内外から多くのかたが訪れています。現在、これらの資源を生かした人口減少対策に取り組み、「誰もが住みたい、子育てしたい、働きたいと思えるまち」を目指したまちづくりを進めています。



雪質良好なスキー場



艸原祭の火文字と花火



あらいまつりの大綱かつぎ

○妙高三大まつり

妙高市には、大きなお祭りが3つあります。それは、妙高山のすそ野に火入れをし「艸」の文字を描く艸原祭(毎年5月上旬)、1200年もの歴史を持つ関山神社火祭り(毎年7月中旬)、長さ80メートル重さ約1トンの大綱を担いでまちを練り歩くあらいまつり(毎年8月上旬)。火祭りを行う関山神社は妙高山信仰の拠点として創建されたもので、妙高山が名前の由来である護衛艦みょうこうの艦長も参拝に訪れています。



関山神社火祭り「仮山伏の棒遣い演武」

○防衛施設周辺対策事業(妙高市テレワーク研修交流施設)

令和4年7月にオープンした妙高市テレワーク研修交流施設「MYOKO BASE CAMP」は、利用者が「働く」「観光する」「遊ぶ」「交流する」など、各々の目的や活動の拠点となることを目指した施設です。利用者が食事、休憩、交流することができる共用のスペース、Wi-Fiや事務機などを完備したコワーキングスペースなどがあり、快適で働きやすい環境を整えています。美しい国立公園の中で、仕事と余暇を同時に満喫できる施設です。



妙高市テレワーク研修交流施設コミュニティスペース

文・写真ともに妙高市に寄稿いただきました。

🐢アオウミガメ🐢

小笠原周辺の海には、イルカやクジラが生息し、毎年、ドルフィンスイムやホエールウォッチングを目当てに多数の観光客が来島してきますが、実は、アオウミガメの日本最大の繁殖地であることはあまり知られていないかもしれません。

毎年、小笠原の海で交尾を終えた雌のアオウミガメは、5月頃から砂浜に上がって穴を掘り、100個前後のピンポン玉に似た卵を産みます。雌雄が決まるのは、遺伝的ではなく、卵の間に経験する巣穴の温度によって決まります。産卵から約2か月後に孵化が始まると、稚亀が砂浜に現れ、一斉に海に向かって進み、小笠原に戻ってくるまで大海原を旅し続けていきます。稚亀が親亀になるまでには30年から40年ほどかかると言われています。

小笠原で暮らす人々と海亀との関わりは古く、小笠原に人が住み始めた1800年代初頭までさかのぼります。一時は海亀漁による乱獲や産卵場の環境悪化等によって個体数が減少したものの、漁獲量や禁漁期の設定や人工孵化放流など様々な保全策が図られ、資源の回復に努めていますが、環境省のレッドデータブックでは、今なお絶滅の危機が増大している「絶滅危惧Ⅱ類」にアオウミガメが分類されているのが実情です。

ちなみに、アオウミガメという名前の由来は、海草海藻類を主食とするため、その色素が脂肪に反映されて「青い」ことからきています。



アオウミガメ

🐢亀食文化🐢

その昔、孤島である小笠原に居た人々にとって、アオウミガメは貴重なタンパク源であったとか。そんな文化が今も根付いており、亀を食べることができるんです。「亀を食べるなんて……」と思われる方も多いかと思いますが、甲羅以外は余すことなく食材として使用されるんです。

小笠原では、郷土料理として「亀煮込み」と「亀刺し」の二種類が料理にされることが多いようです。亀の肉や内臓と野菜と一緒に煮込んで味付けした「亀煮込み」は、臭みが残るため、好き嫌いがはっきり分かりますが、「亀刺し」は、それほど臭みが無く、あっさりしていて馬刺しに近い感じです。海亀漁のシーズンである3月から5月頃の間であれば、普段のメニューには無い採れたて新鮮な亀レバーや亀卵だって食べることができますので、興味のある方はこの時期を狙って来島されるのがよろしいかと。

父島：洋風居酒屋CHARAのメニュー



(新亀の煮込み)



(新亀の刺身)



(新亀のレバー)

レーザー光線の航空機への照射は 犯罪^(注)です。

東京都内、神奈川県内、沖縄県内等で飛行中の航空機に対してレーザー光線を照射するという事案が多発しています。

墜落等による大惨事をもたらしかねない大変危険で悪質な犯罪ですので **決して行わないで下さい。**



■レーザー光線による操縦士への影響(イメージ)

照射している人を見かけた方は **110番通報** をお願いいたします。

(注) 平成28年12月、改正航空法施行規則が施行され、規制が強化(レーザー光線を航空機に向かって照射する行為自体に罰則(50万円以下の罰金))。

刑法の威力業務妨害罪(3年以下の懲役又は50万円以下の罰金)航空危険行為処罰法の航空危険罪(3年以上の有期懲役)等に該当する場合あり。

平成27年12月及び平成28年1月に威力業務妨害罪で逮捕例あり。

防衛省、外務省、警察庁、国土交通省

■内容についてのお問い合わせにつきましては下記に御連絡願います。

北関東防衛局 企画部地方調整課連絡調整室 (東京都、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、新潟県、長野県を管轄) 防衛省本省 地方協力局在日米軍協力課	(代表) 048-600-1800 (内線:2226) (直通) 03-5362-4851
--	---

ドローンの規制についてのお知らせ

小型無人機等飛行禁止法により指定されている自衛隊施設/米軍施設その周辺地域(周囲約300m)の上空におけるドローン等の飛行は、原則として禁止されています。

これに違反した場合、次のような措置/罰則もあります。

- 警察官等による安全確保措置
- 最大懲役1年/罰金50万円

周囲おおむね300mの地域の上空(イエロー・ゾーン)

自衛隊施設/米軍施設の敷地・区域の上空(レッド・ゾーン)



※このほか、航空法上の無人航空機の飛行禁止空域においてドローン等を飛行させる場合、夜間にドローン等を飛行させる場合等には、別途、国土交通大臣の許可又は承認を得る必要があります。

対象防衛関係施設及び飛行をさせたい場合の手続の詳細については、防衛省HPをご参照ください。
<https://www.mod.go.jp/j/presiding/law/drone/index.html>



防衛省・警察庁・外務省・国土交通省

お問い合わせ先 防衛省 北関東防衛局 企画部地方調整課連絡調整室
【代表】 048-600-1800 (内線: 2226)

横田飛行場高さ制限について

飛行場には航空機の安全な運航を確保するため、航空機の離着陸の経路に当たる一定の空域に飛行場の規模に応じて建物等の高さに制限が設けられています。

横田基地ホームページ(<https://www.yokota.af.mil/>)では、横田飛行場周辺の建物等の高さの制限を地図で確認できるサービスを提供しています。

利用方法

北関東防衛局ホームページ(<https://www.mod.go.jp/rdb/n-kanto/>)

トップページ中間部のバナーをクリックすると利用方法が参照できますのでご利用ください。



高さ制限HP



在日米軍従業員募集

独立行政法人駐留軍等労働者

労務管理機構【エルモ】では、在日米軍基地で勤務する従業員の募集を行っています。

興味のある方は、エルモホームページをご覧ください。下記の支部にお問い合わせください。

※求人情報提供メールサービスに登録すると、希望する求人情報がホームページに掲載される都度、お知らせメールが送信されますのでご利用下さい。



【X(旧Twitter)】

求人情報等の募集関連情報を定期的に発信しています。ぜひ、フォローをお願いします。

アカウント名

【在日米軍従業員求人情報(エルモ) @LMO_recruit】

X(旧Twitter)



【窓口応募受付・お問い合わせ先】

エルモ横田支部管理課管理二係

住所: 東京都昭島市田中町568-1 昭島昭和第2ビル4階

電話: 042-542-7663

担当施設: 横田飛行場、ニューサンロー米軍センター、赤坂プレス・センター他

<https://www.lmo.go.jp>

L M O 検索

エルモ
ホームページ



求人情報
本州・九州の
基地



★「北関東防衛局広報」のバックナンバーは、北関東防衛局のホームページでご覧になれます。

<https://www.mod.go.jp/rdb/n-kanto/kouhou/kouhou.html>

北関東防衛局広報 検索

広報紙
バックナンバー

